

## ★パワーポイントで「文学作品」のプレゼンをしよう！

- ① 予め作成したスライドを使って、まずは講師がお手本を見せます
- ② 同じスライドを使って生徒がプレゼンを行います

うまく進めるコツは、いかに面白くお手本を見せるかです。

iPadなどタブレット機器を使えば場所をとらず、コンパクトに行うことができます

また、スライドを印刷すればそのまま教材に使用できます。

スライドの文を( )抜きにすれば、復習用の宿題になります。

- スライドを見る事で、作品や作者の具体的なイメージを持つことができます。
- 自ら話すことで、話の筋や作者にまつわるエピソードを意識して整理する事ができます。

---

# 徒然草

兼好法師(吉田兼好)

---

「徒然草」は  
直訳すると“ヒマつぶし本”です。



徒然 = 何もすることがなく、退屈な状態

草 = 本

徒然草 = 退屈しのぎの本

タイトルは適当ですが、  
「徒然草」は“人生の教科書”です。

---

教訓や人生哲学がたくさん書かれています。

たとえば、  
「長生きしても良いことはないから、生きることに執着するのはやめて、  
1日1日を大切にすべきだ。」など。

「40歳ちょっと前くらいに死ぬのがちょうど良い」と言っていましたが、  
実際は70歳くらいまで生きたそうです。

「徒然草」の作者は  
兼好法師（吉田兼好）です。

---

江戸時代は吉田兼好と呼ばれていましたが、  
出家したことで兼好法師と呼ばれるようになりました。

法師 = 出家した僧のこと

## 有名な序段を紹介します。

### (原文)

つれづれなるままに、日暮らし、  
硯(すずり)にむかひて、  
心にうつりゆくよしなしごとを、  
そこはかとなく書きつくれば、  
あやしうこそものぐるほしけれ

### (現代語訳)

とくにすることもなく退屈だったので、1日中  
すずりに向かって、  
心に浮かんでくるいろいろなものを、  
ただ書きなぐっていると、  
妙に夢中になって気が変になりそうだ



---

# 徒然草

兼好法師(吉田兼好)

---

「徒然草」は  
直訳すると“\_\_\_\_\_本”です。

•=====•

徒然 = \_\_\_\_\_

草 = \_\_\_\_\_

徒然草 = \_\_\_\_\_



タイトルは適当ですが、  
「徒然草」は“人生の教科書”です。

---

教訓や人生哲学がたくさん書かれています。

たとえば、  
「長生きしても良いことはないから、生きることに執着するのはやめて、  
1日1日を大切にすべきだ。」など。

「40歳ちょっと前くらいに死ぬのがちょうど良い」と言っていましたが、  
実際は70歳くらいまで生きたそうです。

「\_\_\_\_\_」の作者は  
\_\_\_\_\_（\_\_\_\_\_）です。



江戸時代は吉田兼好と呼ばれていましたが、  
出家したことで兼好法師と呼ばれるようになりました。

法師 = \_\_\_\_\_ した \_\_\_\_\_ のこと

## 有名な序段を紹介します。

(原文)

つれづれなるままに、日暮らし、  
硯(すずり)にむかひて、  
心にうつりゆくよしなしごとを、  
そこはかたなく書きつくれば、  
あやしうこそものぐるほしけれ

(現代語訳)

とくにすることもなく( )、( )  
すずりに向かって、  
心に浮かんでくる( )を、  
ただ書きなぐっていると、  
( )気が変になりそうだ

